



NST勉強会

より良き栄養管理を安全にサポートすることを目的としてNutrition Support team (NST) が発足して約4年を迎えます。これまで介入した患者さんは300名を超えチームの経験も積み重なってきた今日この頃です。

さて栄養サポートチームでは毎月勉強会を開催して参りましたが、本通信で今後勉強会の概要をお伝えし、より多くの方々に栄養管理について関心を持っていただきたいと考えております。

今回お伝えするのは、前回NST勉強会の概要です。
平成二十一年五月十四日午後六時
救命救急センター 古川 力丸先生を
講師に迎え、「経腸栄養の重要性」
をテーマにお話いただきました。

- ①長期の静脈栄養管理では腸管粘膜委縮により感染リスクが高まること（バクテリアルロケーション）
- ②それゆえ、粘膜委縮を防ぐために早期経腸栄養を促進すること。
- ③実際に当院で採用されている多くの経管栄養を病態に合わせてどう使い分けていくのか？まだまだ浸透していない経管栄養の導入が明日からでもできるように、救命救急センターでの使用経験を紹介。
- ④救命救急センターにおける重症患者さんの集中治療管理の中で栄養管理が患者さんの早期回復に大きなウェイトを占めていることがわかりました。

MAGIC-P strategy

7月からの勉強会は「実践的な」内容を意識して、症例を取り上げながら、栄養管理の視点から包括的に患者さんに介入するアイデアをお伝えすることを目的に全6回シリーズで勉強会を計画しております。各病棟で患者さんの早期回復のために頑張っているみなさんの一助になれば幸いです。

今後6回シリーズの勉強会は開催予定を

第1回 7月16日（木曜日）17時30分～

18時30分

第2回 9月10日（木曜日） 上記に同じ

第3回 10月8日（木曜日） 上記に同じ

第4回 11月12日（木曜日） 上記に同じ

第5回 12月17日（木曜日） 上記に同じ

第6回 未定ですが、原則第2週目木曜日開催を予定しております。

演題は「MAGIC-P strategy」と題して、講師は救命救急センター（NSTディレクター）

山口順子医師です。「MAGIC-P strategy」のネーミングはオリジナルですが、M/A/G/I/C/Pはそれぞれ包括的栄養管理を行うためのキーワードの頭文字ということです。

詳細は当日までのお楽しみですが、全6回聴講していただくことで、NSTチームが実際に介入依頼を受けた際の助言・介入の根底にある考えを少しでもお伝えできたらと考えております。